

# 年間学習指導計画(案) 教育出版『中学書写』

## 【第一学年】

学期	期	月	時間	学習単元	学習教材	学習指導のねらい	ページ		
一学期	前期	4～6月	適時	目的に合わせて書こう		○さまざまな角度から文字に対する関心を深め、文字を書くことへの興味や関心を深めることができる。 ○中学書写の学習内容が、他教科や日常生活へ広がることを理解できる。	①～2		
			適時	姿勢と用具の使い方		○小学校で学習した姿勢・執筆、用具の使い方について確認することができる。	3～5		
			適時	目次 第一学年・第二学年・第三学年		○中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解することができる。	6・7		
			適時	学習の進め方、書写学習の構図		○学習の進め方を理解し、書写の各学習内容の関係性を理解することができる。	8		
			適時	目次 第一学年		○中学校一年における書写の学習内容や目標を理解することができる。	9		
			適時	詩「ふしぎ」金子みすゞ		○よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。	10・11		
		4時間	一 楷書で書こう	①筆使い 一基本点画一		○小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。	12・13		
				②筆使いと字形「天地」		○小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、字形に注意して書くことができる。	14～17		
				③学習を生かして書く一字形、筆順一		○字形の整え方と筆順の原則を理解して書くことができる。 ○毛筆で学習したことを、硬筆に生かすことができる。	18・19		
				■筆、墨、硯、紙について知ろう(資料)【適時】		○書写で用いられる用具に興味をもち、材料や産地などのテーマに沿って、調べることができる。	20・21		
			二 楷書と仮名を調和させて書こう	①筆脈「いろは歌」		○平仮名の筆使いや筆脈、配列を理解して書くことができる。	22・23		
				②楷書に調和する仮名「いろは歌」		○楷書に調和する平仮名や片仮名の字形、筆使いを理解して書くことができる。 ○「いろは歌」や五十音表について理解することができる。	24・25		
				③学習を生かして書く一行の中心一『竹取物語』		○漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書くことができる。	26・27		
				■文字で心を伝えよう1(資料)【適時】		○自分のさまざまな思いを言葉にして相手に伝えることを理解し、その場面に応じた書き方を選んで書くことができる。	28・29		
7～9月	4時間	④学習を生かして書く一配列一 ①原稿用紙に書く		○原稿用紙の基本的な書き方と、漢字と仮名の大きさや配列を理解して書くことができる。	30				
		④学習を生かして書く一配列一 ②レポートの形式に書く		○レポートの基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して書くことができる。	31				
		④学習を生かして書く一配列一 ③手紙を書く		○手紙の基本的な書き方を理解し、文字の大きさや配列に注意して書くことができる。	32・33				
		■文字は残る(資料)【適時】		○小説家や詩人が書いてきた文字を見て、書かれた文字への興味を深めることができる。	34・35				
		⑤学校生活に生かして書く		○伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を工夫して書くことができる。	36・37				
		■文字の変遷(資料)【適時】		○文字の変遷について関心をもつことができる。	38・39				
二学期	後期	10～2月	9時間	三 行書で書いてみよう	①行書学習のはじめに		○遺されてきた文字や日常生活の文字から、行書とはどんな書体かを理解することができる。	40・41	
					②楷書と行書の違い「和」		○楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解することができる。	42・43	
					③行書の筆使い「大」		○行書の筆使いを確かめることができる。	44・45	
					④点画の連続と変化1「大木」		○点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	46・47	
					⑤点画の連続と変化2「栄光」		○点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。	48・49	
					⑥点画の連続と省略「平和」		○点画の連続と省略を理解して書くことができる。	50・51	
					⑦学習を生かして書く一行書の特徴一		○これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。	52・53	
					⑧学習を生かして書く一配列一 ①年賀状を書く		○行の中心や文字の大きさを理解して行書で書くことができる。	54・55	
					■暮らしの文字を支える人々【適時】		○さまざまな活字が活字デザイナーの手書きをもとに作られていることを理解し、職業観を意識することができる。	56	
					三学期	後期	12・1月	3時間	■書き初めを書く「新たな決意」「天地清新」
3月	適時	一年間の学習のまとめ	①楷書と仮名の調和「広がる世界」 ②行書「理想」	○一年間の学習を振り返って楷書と仮名の調和のさせ方、行書の書き方を理解して、字形を整えて書くことができる。					61・62
		補充教材集1	「出発」「名作」「永遠」「伝統文化」色紙(光孝天皇の和歌)短冊(小林一茶の句)	○好きな言葉を選び、自分の目標を設定し、課題を意識して書くことができる。					63・64